

# EBPM推進人材の育成に係る 農林水産省の取組について

---

令和 8 年 9 月  
**農林水産省**

# 農林水産省におけるEBPMの取組方針

- EBPMの推進については、令和8年度における人事管理運営方針（令和8年3月31日内閣総理大臣決定）や経済財政運営と改革の基本方針2026（令和8年7月21日閣議決定）等の政府方針においても明記されているところ。
- 農林水産省においては、**令和8年度農林水産省EBPM取組方針**において、**EBPMに関する人材育成について明記**し、EBPMに関する意識啓発や基本的・実践的知識の向上を目指している。

## 令和8年度農林水産省EBPM取組方針（令和8年4月17日）【抜粋】

### 5. 人材育成、知見の蓄積・活用

#### （1）EBPMに関する研修

広報評価課は、大臣官房秘書課等の協力の下、政策立案の中心的な実務を担う課長補佐クラスの職員はもとより、幹部・管理職職員、係長クラスの職員、新規採用者等の職員各層に対し、EBPMに関する意識啓発や基本的・実践的知識の向上に資するよう、EBPMに関する研修を実施する。

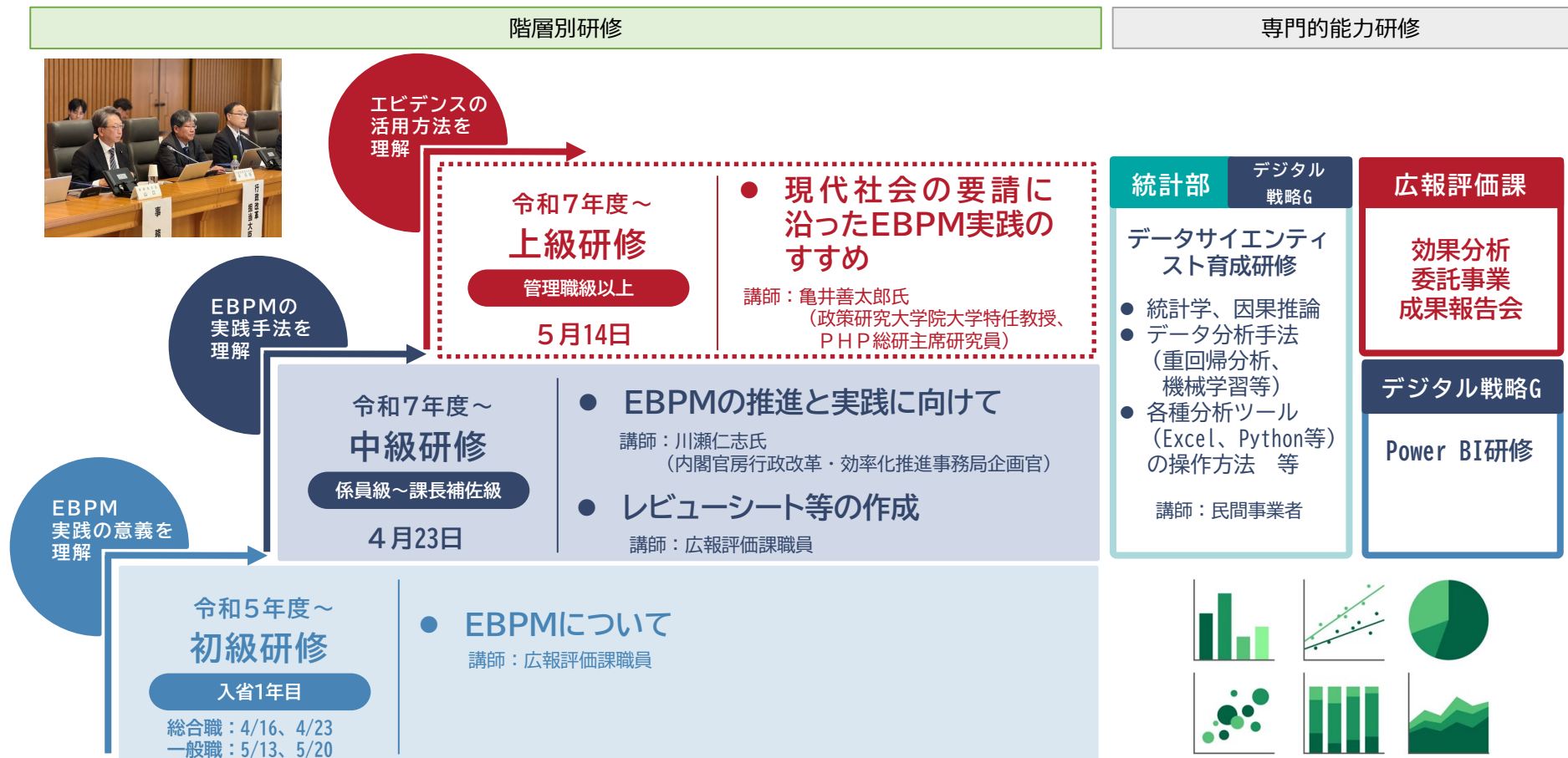
#### （2）EBPMに資するその他の研修

デジタル戦略グループ及び統計部は、データ分析をするための知識・スキルの習得やデジタルツールの利活用を進めるため、ツール活用の技術習得のための研修や、データサイエンティスト研修を実施する。また、総務省主催の統計データに関する研修等の周知等、職員のデータリテラシーを向上させる研修の受講を促すとともに、関係部局庁と協力しつつ、実践的な人材活用の支援を実施する。

**令和8年度農林水産省EBPM取組方針に基づき、**  
**EBPMの取組を一層推進するため、各種研修を通じた人材育成を実施**

# 農林水産省におけるEBPM推進人材の育成に向けた取組①

- 農林水産省においては、**令和7年度からEBPMに関する階層別研修を開始**し、人材育成の取組をより一層強化。
- また、**令和3年度からEBPMの実践に資する専門的能力研修（統計学、各種分析ツール等に関する研修）も実施**。
- さらに、委託事業（予算、税制等の効果分析を外部委託）で得た結果を、EBPMのモデル的事例として省内へ横展開。



※令和8年度においては、階層別研修の受講者は約1,000名、データサイエンティスト育成研修の受講者は約60名。

# 農林水産省におけるEBPM推進人材の育成に向けた取組②

- 専門的能力研修の1つである「**データサイエンティスト育成研修**」は、データの収集・整理や統計的処理など、**EBPMの実践をはじめ**、業務に活用できる高度な知識・スキルを身につける目的で実施。
- **研修期間は約1.5ヶ月間**、研修内容は目的に応じて3コースあり、**地方組織でもオンライン受講が可能**。さらに、カリキュラムの中では、**EBPM基礎、ロジックモデルの理解**についても取り扱い、ケーススタディも交えながら取り組んでいるところ。

## 研修の流れ (約1.5ヶ月)

※データ分析実践  
コースの場合

### 【座学（1ヶ月）】

- ・ データサイエンスの基本プロセス
- ・ 生成AIについて
- ・ 統計学の基礎的概念
- ・ **EBPM、ロジックモデルの理解** 等

### 【演習（0.5ヶ月）】

- ・ ケーススタディ



【例】 農業遺産認定による効果分析をテーマに、分析の進め方、既存データの活用方法等を手順を追ってケーススタディとして実施。



## 研修コース (3コース)

- ① データ分析実践コース  
(**座学** + **演習**)

データ分析技術の習得を通じて、**データサイエンスを専門とし、様々な領域や業務に活用できるスキルを身につける。**

- ② データ分析企画コース  
(**座学**のみ)

データに基づいた問題提起や効果検証に必要な理論・技術を習得し、**意思決定に活用する力を身につける。**

- ③ データリテラシー習得コース  
(**オンライン**)

データ活用に係る**基礎的知識の習得**や、**特定分野の学習**を行う。

# 各種研修の成果事例

- 階層別研修では、職務に応じてEBPMの基礎から実践までを学ぶことにより、**EBPMの必要性・重要性に関する意識を省内に醸成**している。研修参加者からは、政策立案に当たってのEBPMの重要性が理解できたとの声が多くあった。
- 専門的能力研修では、一部の研修参加者が、統計部による政策部局と連携したデータ分析支援の取組に参画し、研修で得たスキルを活用するとともに、その成果（分析レポート）が農林水産省HP上で公表されるなど、**データに基づく政策立案の推進に寄与している**。

## 階層別研修（参加者の声）

- ・ 政策立案に当たってのEBPMの重要性を理解でき、**行政の信頼性確保の基礎になるものと感じた**。
- ・ EBPMを実践していくことが、説得力のある政策立案につながると感じたため、**実際に政策立案をする立場となったら、意識したい**。
- ・ 普段から「意識しなきゃ」と思っているが、実践が難しいEBPMについて、**「すぐやろう」と背中を押してくれるような内容**。課長一人が意識しても、担当職員にしてみれば「エビデンスを揃えられない」「ロジカルに施策の有効性を説明できない」など、「できない」意識がすぐには抜けないと思うため、**今後も継続的にかつ階層別に研修を準備してほしい**。

## 専門的能力研修（事例）

### 役立つデータ分析（分析レポート）

令和8年度

**一国産水産物の消費拡大及び水産エコラベル認証の認知度に関する分析** New!

「国産水産物の消費拡大及び水産エコラベル認証に関する意識・意向調査」の回答結果を基に、消費者の国産水産物消費に対する意識・意向や、消費者及び水産関連事業者の水産エコラベル認証の認知度、認証取得の意識、課題等について分析を行いました。

図6 今よりも、水産物を食べる機会・量を増やしたいか。（n=1,000）

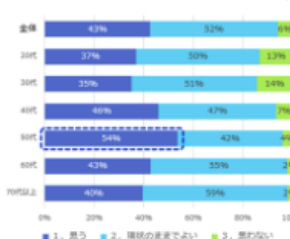


図7 増やしたいと思う理由。（n=426）



# EBPM推進人材の育成における課題と方向性

## 現在の取組

- ① 階層別研修を通じて、EBPMの必要性・重要性に関する意識を省内に醸成。
- ② 専門的能力研修を通じて、EBPM推進に必要なデータ分析等に精通した人材基盤を強化。

## 課題

- ① 現在の階層別研修では、EBPMの実践的な取組に関する内容が不足している。
- ② 多くの職員が専門的能力研修を受けられるわけではない。

**各種研修は今後も継続して実施するとともに、  
例えば階層別研修にEBPMの実践的な研修も取り入れるなどして  
多くの職員がEBPMに携われる環境を整備していく必要。**